

分科会  
「求められる高度理工系人材」

討議の報告

2007年6月16日

---

主査：吉川誠一

## 第6回産学官連携推進会議 分科会

■ 主査 吉川誠一 (株)富士通研究所常務取締役

■ パネリスト

府川伊三郎 旭化成株式会社顧問

三木千壽 東京工業大学副学長

西岡郁夫 モバイルインターネットキャピタル(株)  
代表取締役社長

藤田喜久雄 大阪大学大学院教授

元村有希子 毎日新聞科学環境部記者

■ 総合科学技術会議

奥村直樹 議員

■ コメンテータ

山脇良雄 文部科学省 基盤政策課長

渡邊政嘉 経済産業省 研究開発課企画官

# 本分科会のスコープ

論点1 . 高度理工系人材に求められる資質は？

論点2 . 人材育成プロセスの課題は？

論点3 . 何をなすべきか？

# 論点1 . 高度理工系人材に求められる資質

能力	現状	今後の期待
専門知識・専門能力		
幅広い知識、能力 (一般教養、社会常識、コミュニケーション力、協調性)		
課題解決能力		
課題設定能力・創造性		
国際性		
粘り強さ、意欲・向上心		

求められる人材像が、産業界、大学教員、博士学生の間で共有されているか？

## 論点2 . 人材育成プロセスの課題

### ■博士課程がイノベーション創出につながっていない

- (1) 博士課程を修了しても就職できるとは限らない
- (2) 日本の博士号取得者は未だアカデミア志向
- (3) 多くの学生が修士課程修了で就職している

### ■博士の育成と採用をめぐる「悪循環」の存在

### ■博士の育成をめぐる大学と産業界の連携の不足

# 論点3 . 何をなすべきか？

## (1) 大学は？

イノベーション創出につながる  
カリキュラム改善

修士・博士一貫コース

(東工大三木副学長)

統合デザインカプログラム

(阪大藤田教授)

国際競争力強化(国際的な交流)

教員の意識改革

## 論点3 . 何をなすべきか？

### 産業界との交流促進

産業界との共同研究充実、強化  
インターンシップ拡充  
人材交流

### 人材の質の確保と保証

選抜の厳格化  
出口管理の徹底  
生活支援 (返済不要の奨学金、  
TA、RA給与支給強化)

- 就職支援

# 論点3 . 何をなすべきか？

## (2) 産業界は？

大学、学生に対するメッセージ発信

- 博士セミナー((社)日本化学会)

優秀な高度理工系人材の処遇の改善

大学との交流促進

共同研究

インターンシップ受入

人材交流

人材の流動化



## 論点3 . 何をなすべきか？

### (3) 国は？

大学院教育改革への継続的サポート  
高度理工系人材のキャリアパス多様化  
高度理工系人材の生活支援  
(特別研究員事業の拡大)

### (4) 学生は？

博士の意識調査 / 実態調査が必要  
主体的意識変革

# まとめ

